

令和4年度

事業報告及び決算書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人いばらき文化振興財団

目 次

I 事業報告	1 ~ 22
II 決算報告書	23 ~ 35

I 事業報告

総括的事項	1
1 公益目的事業1 [公1] (文化振興事業)	1 ~ 7
2 収益事業1 [収1] (県民文化センター自主事業)	7 ~ 8
3 公益目的事業2 [公2] (水族館事業)	8 ~ 20
4 収益事業2 [収2] (水族館売店事業)	20 ~ 21
5 法人運営事業	22

I 令和4年度事業報告

公益財団法人いばらき文化振興財団の設立趣意に則り、県民のニーズを踏まえた魅力ある文化振興事業を行い、個性豊かな地域文化の創造を図るため次の事業を行った。

総括的事項

第5期中期経営計画（2021年度～2023年度）に沿った運営に努めた。

- (1) 文化活動団体等への助成については、県内の団体等に対し事業費の一部を助成するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響における団体等への活性化を図るため、年度中途に支援要望等アンケートを行い、要望に応えるため追加募集による支援拡充に努めた。

文化芸術を創出できる場を提供するとともに、県民が参加でき賑わいを創出する事業を実施したほか、新進演奏家の活動情報をWebを通じて発信することで活動支援に努めた。

- (2) 文化芸術に接する機会の提供については、新型コロナウイルス感染症の影響により当初事業計画に対し4事業が減となったが、文化庁などの各種助成金を活用し、世界一流ピアニストや大型フルオーケストラ公演を実施するなど、コロナ禍においても多種多様なジャンルの舞台公演を感染症防止対策の徹底を図り安全・安心な運営で提供した。

- (3) 茨城県立県民文化センターの運営については、コロナ禍からの回復傾向となったものの2度の感染拡大が見られ、大・小ホールを中心に予約のキャンセルがあった。そのような中、リピーターへの施設空き情報提供や新規団体の発掘のため積極的な営業活動等を実施したことにより、利用者数は、前年度比約1.4倍と増加し339,509人となった。

また、引き続き新型コロナ感染症対策を実施するとともに、インターネットで24時間施設予約が可能なシステムを新たに導入して、利用者の利便性向上と施設の利用促進に努めた。

- (4) アクアワールド茨城県大洗水族館については、水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして効果的かつ円滑な展示と運営に努めた。

令和4年度は、コロナ禍からの回復傾向に加えて、政府の観光需要喚起策「全国旅行支援」による後押しや3月の屋外リニューアル効果もあって、総入場者数は目標の1,101,800人を上回る1,200,700人となり、歴代3位の記録となった。

1 公益目的事業1（文化振興事業）

(1) 文化振興推進事業

ア 文化芸術活動への助成、情報の発信

県内で創意工夫し自主的で個性的な活動を行っている文化活動団体等に対し、活動成果発表に係る事業費の一部を助成するとともに情報発信等の広報支援を行った。

なお、コロナ禍における文化活動団体等の活性化を図るため、活動状況及び支援要望等に関するアンケート調査を行った結果支援要望があったため、計画を一部変更し下半期に実施する活動成果発表を対象に追加募集を行い支援拡充に努めた。

区 分	当初募集		追加募集		合 計	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
助成交付件数（件）	57	51	－	9	57	60
助成額（千円）	15,421	12,813	－	1,354	15,421	14,167

※令和4年度追加募集（募集期間：令和4年7月11日～8月18日）

イ 参加創造事業

県内在住・出身の新進演奏家への発表の場の提供を支援する「新進演奏家ステップアップ事業」や、県内の中学生を対象にプロの演奏家によるレッスン・交流・共演までの未来の担い手を見据えたカリキュラムによる「担い手育成事業」、県内の地域文化資源の継承・活用を目的とした「地域文化活用事業」など7事業を、安全・安心を確保した運営で実施した。

また、文化芸術を創出できる場を提供する「県民企画公募型事業」として、提案者と協働で制作した作品「ことばのチカラ」を提供し、広く県民が参加できる賑わい創出で文化振興の拡充に努めた。

実施日	公演名	会場	回数	入場者数
8月11日(木) 12日(金)	県民企画公募型事業 ことばのチカラフェスティバル 2022 <8月11日> ・プログラム①（集会室、11人） 「生きたことばのワークショップ」 <8月12日> ・プログラム②（大ホール、615人） 「羽田美智子が綴る、交響詩の世界」 ・プログラム③（小ホール、78人） 「種まく団が伝えるアートステージ」 ・プログラム④（集会室、236人） 「楽しく遊ぶプログラム」 ・プログラム⑤（県民ギャラリー、85人） 「生演奏で楽しむ朗読劇・セロ弾きのゴーシュ」	大ホール等	5	1,025人
9月18日(日)	新進演奏家ステップアップ事業 「第48回茨城県新人演奏会」	大ホール等	1	437人
10月22日(土)	担い手育成事業 「親子で楽しむ0歳からのコンサート」	小ホール	1	298人
11月6日(日)	新進演奏家ステップアップ事業 「新人演奏会受賞者コンサート」	常陽藝文センター	1	234人
1月14日(土)	地域文化活用事業 「いばらき民話ミュージカル」	小ホール	2	250人
2月11日(土)	水族館連携事業 「バレンタインナイト」	大洗水族館	2	359人
2月12日(日)	新進演奏家ステップアップ事業 「新人演奏会歴代受賞者コンサート」	小ホール	1	353人
計7事業			13	2,956人

ウ 新進演奏家への支援

県内在住・出身等の新進演奏家への支援については、当財団の自主公演事業での出演をはじめ、アウトリーチ事業（出前講座）への講師派遣や公立施設催事への演奏家派遣を積極的に244名派遣し、コロナ禍で発表活動が減少している演奏家への支援を行った。

また、オウンドメディアである「Web チャンネル」で演奏家のプロフィールや提供可能プログラム、PR 動画等を公開し、情報発信の強化で派遣依頼の拡大を図った。

<演奏家出演・派遣人数内訳>

- ・財団自主公演事業 : 19 名 (4 事業)
- ・アウトリーチ事業 (出前講座) : 213 名 (68 事業)
- ・公立施設主催催事への演奏家派遣 : 12 名 (5 事業)

エ 受託事業

従来の学校派遣型に加え県内市町村と連携して公立文化施設等において広く県民が参加できる講座を実施し、より広く様々な文化芸術の魅力に触れる機会を提供した。

なお、文化振興の拡充を図るため計画を一部変更し、実施枠を広げ計画対比 9 講座増の 109 講座の実施となった。

また、コロナ禍における文化振興施策として動画を活用した映像配信講座を計画したが、学校からの要望を踏まえ実開催を中心とした講座に変更し、コロナの状況に応じた講座提供で様々な文化芸術の魅力に触れてもらい、子どもたちの豊かな感性や創造力などの育成に努めた。

区分	項目	実施日	会場	講座数	参加者数
一般枠	音楽 (室内楽)	10 月 23 日 (日)	鹿嶋勤労文化会館	1	700 人
	美術 (絵画)	7 月 30 日 (土)	潮来市立図書館	1	9 人
		9 月 3 日 (土)	牛久市中央生涯学習センター	1	15 人
学校枠	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽 : 68 講座 ・美術 : 10 講座 ・伝統文化 : 15 講座 ・リポーン : 7 講座 ・能楽 : 4 講座 ・食文化 : 2 講座 	5 月～3 月	県内小中高等学校 特別支援学校	106	14,116 人
計				109	14,840 人

(2) 県民文化センター指定管理事業

ア 施設の利用状況

令和 4 年度は、コロナ禍からの回復傾向となったものの、年度中における感染症の拡大 (第 7 波、第 8 波) が見られ、大・小ホールを中心に予約のキャンセルがあった。そのような中であっても、本県の文化施設の拠点として、利用者が安全で安心して施設が利用できるようガイドラインを遵守のうえ、施設の運営に努めた。

影響を最小限とするため、施設のリピーターに対して、メール・電話等により施設の空き情報等の提供を行い予約漏れのないよう努めるなど、利用促進チームによる利用促進誘致活動を実施した。また、新規団体の発掘を積極的に行った結果、令和 4 年度の文化センター利用者数は 339,509 人、施設の利用料金は 93,220 千円となり、当初計画には届かなかったが、昨年度対比で、利用者数が約 1.4 倍、利用料金が約 1.3 倍増の結果となった。

施設利用実績

区分	利用者数（人）	利用日数（日）	利用料金（円）	利用率（％）
大ホール (R4 計画) (R3 実績)	136,328 (146,538) (76,335)	225 (255) (161)	50,601,985 (59,230,000) (38,183,225)	81.2 (82.5) (63.6)
小ホール (R4 計画) (R3 実績)	43,583 (50,205) (25,129)	258 (263) (159)	13,546,090 (12,530,000) (8,114,845)	76.8 (77.4) (53.7)
本館集会室 (R4 計画) (R3 実績)	51,043 (73,467) (54,297)	324 (311) (285)	6,069,806 (7,179,000) (4,804,212)	93.4 (89.9) (89.1)
分館集会室 (R4 計画) (R3 実績)	32,236 (26,682) (20,230)	335 (311) (281)	12,481,047 (11,350,000) (9,714,291)	95.4 (89.9) (92.1)
和室 (R4 計画) (R3 実績)	1,420 (2,197) (6,791)	129 (207) (77)	1,016,919 (1,750,000) (626,988)	37.0 (59.0) (24.6)
一般展示室 (R4 計画) (R3 実績)	37,198 (46,383) (30,668)	238 (239) (202)	5,331,460 (5,782,000) (4,883,000)	68.2 (68.9) (62.9)
県民ギャラリー (R4 計画) (R3 実績)	36,042 (51,851) (29,093)	203 (239) (168)	3,643,790 (4,316,000) (2,947,840)	58.0 (68.9) (53.2)
練習室 (R4 計画) (R3 実績)	1,659 (1,504) (841)	132 (159) (109)	528,868 (398,000) (375,530)	41.9 (45.4) (34.9)
計 (R4 計画) (R3 実績)	339,509 (398,827) (237,272)	1,844 (1,984) (1,442)	93,219,965 (102,535,000) (69,649,931)	69.0 (72.5) (59.2)

※利用率は、利用可能日に対する利用日数の割合。

イ 鑑賞事業

コロナ禍で本県の文化振興が停滞傾向にあるなか、文化の発信拠点施設としての役割を踏まえ、世界一流ピアニストによるリサイタルをはじめ人気狂言師の公演や約 80 名編成の大型フルオーケストラコンサート、有名アーティストによる J-POP 公演などを実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止や世界情勢等の影響により、一部の海外招聘公演が中止となり、計画対比 4 事業減の 16 事業の実施となった。

なお、収支均衡を保ちながら適切な価格設定で鑑賞しやすい環境を整備するため、文化庁の各種助成金や企業協賛金を獲得し多種多様な文化芸術に触れる機会の充実をとおして、文化芸術を支える基盤づくりに努めた。

今後は、コロナ禍に確立された新しい生活様式を視野に入れたアフターコロナ施策で、様々な年代の方により多く鑑賞していただける質の高い公演をバランスよく開催していく。

ジャンル	実施日	公演名	会場	回数	入場者数
演 芸	4月2日(土)	落語二人会 (柳家喬太郎・春風亭一之輔)	大ホール	1	480人
音 楽	4月3日(日)	南こうせつコンサートツアー2022 夜明けの風	大ホール	1	682人
音 楽	6月26日(日)	手島葵 15TH ANNIVERSARY CONCERT	大ホール	1	1,046人
演 劇	7月16日(土)	おしりたんていミュージカル	大ホール	2	1,402人
音 楽	8月14日(日)	AI DREAM TOUR	大ホール	1	1,400人
音 楽	9月7日(水)	小林愛実ピアノリサイタル	大ホール	1	1,380人
古典芸能	9月19日(月)	花園直道「華 FUBUKI 百花繚乱」	大ホール	1	998人
音 楽	10月15日(土)	木村大×榊原大「魅惑の名曲コンサート」	小ホール	1	269人
音 楽	11月20日(日)	和楽器バンド「ボカロ三昧2 大演奏会」	大ホール	1	1,118人
古典芸能	11月24日(木)	野村萬斎 狂言公演	大ホール	1	855人
音 楽	12月8日(木)	シンフォニックコンサート「THE OPERA」	大ホール	1	736人
演 劇	12月18日(日)	世界名作劇場「童話劇 オツベルと象」	小ホール	2	213人
演 劇	1月29日(日)	きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル	大ホール	2	1,206人
音 楽	2月20日(月)	高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト	大ホール	1	1,491人
音 楽	2月26日(日)	ブルース・リウ ピアノリサイタル	大ホール	1	1,464人
音 楽	3月11日(土)	藤井フミヤ CONCERT TOUR2023	大ホール	1	1,462人
計 16事業				19	16,202人

ウ 施設の利用促進及びサービスの向上

(ア) 利用促進対策

ホームページ等で大・小ホール、展示室、県民ギャラリー等の施設空き情報やコンサート等の最新情報を提供するとともに、近隣市町村の文化施設及び関係団体等約500団体に情報誌「催し物ご案内」(10,000部発行)を毎月発送し、来館者の利用促進に努めた。

また、利用促進チームを立ち上げ、過去の利用団体の状況分析や誘致活動計画等を毎月利用促進会議で協議し、リピーター及び新規団体への誘致活動を行った。

過去の利用実績のある団体に対して、例年、同月に利用している団体で予約が入っていない場合は、予約漏れの無いよう電話・メールにより確実にレポートを促し、また、各団体や高等学校等への訪問活動を実施するなど、積極的に誘致活動を行った結果、117件

(令和4年度分44件、令和5年度分73件)、利用料金17,122千円(令和4年度分4,950千円、令和5年度分12,172千円)の予約を獲得した。

(イ) 各団体との連携

水戸観光コンベンション協会等、関係各団体と連携し、全国規模や地域ブロック規模の大会等の誘致や情報交換を行うとともに、茨城文化団体連合等と連携強化を図り、展覧会等誘致に努めた。

なお、茨城県公立文化施設協議会及び全国公立文化施設協会との連携により、加盟施設館との情報共有や文化施設の職員を対象とした各種研修会等を開催し、県内施設職員の企画・技術力の向上を図るとともに先導的役割を果たした。

○誘致活動実績

- ・活動件数実績：868 件（計画比：388 件増）
- ・予 約 実 績：件数 117 件、利用料金 17,122 千円

(ウ) サービスの向上

令和 4 年 9 月から、集会室等の予約が 24 時間、インターネットから実施可能な Web 予約システムを新たに導入し、利用者の利便性の向上を図った。(Web 登録団体数：50 団体、予約件数：141 件)

また、チケット販売については、引き続き窓口での販売に加え、インターネットによりチケット購入が出来る Web チケット販売システムの利用促進に努めた。(Web 会員登録者：1,182 人、前年比 482 人増)

来館者と主催者双方を対象とした満足度調査（アンケート調査）を実施し、来館者から 30 件、主催者から 455 件の回答が寄せられ、要望のあった 18 件のうち、トイレ照明等 8 件については対応済みであり、その他については多額の予算を伴う等の理由から引き続き対応を検討している。

施設の実施方法の説明等において、タブレットの電子媒体を活用した画像・映像による紹介を実施し、利用者がイメージしやすい案内・対応に努め好評を得た。

また、コロナ禍における多様な催事開催を支援するため、オンライン環境を活用して当館での催事を動画配信するサービスを提供し、当初計画 50 件を上回る 81 件実施することができた。

(エ) 県民文化センター友の会の運営

会員向けのサービス提供は、財団主催や貸館のコンサートなどについて、チケット割引 31 件、先行予約販売 12 件計 43 件を実施するとともに、新たに県内在住の能楽師等による「能・狂言」を開催するなどして、コロナ禍においても、多くの会員に対するサービスの提供の継続と会員の確保に努めた結果、前年度対比 57 人増の 1,550 人の会員数を確保することができた。

○友の会活動の概要

会員数	1,550 人（令和 5 年 3 月 31 日現在）（昨年度 1,493 人）
事業内容	・チケット割引及び会員先行販売の実施（51 件） ・催し物案内の配布 ・「初秋 能・狂言の誘い」の主催開催 開催日：令和 4 年 9 月 24 日（土） （第一部）狂言「盆山」、他 （第二部）能楽「桜川」、他、解説等 参加者：222 人

エ ピアノを活用した参加事業

世界三大ピアノの一つである「スタインウェイ」を活用した参加事業を年 10 回開催した。

1 回 5 組限定で事前募集した参加者に、反響板及びコンサート照明を使用したコンサートスタイルのステージでのスタインウェイの体感プログラムを提供。希望者には、演奏技術の向上を図るための記録動画及び若手演奏家による講評、また、他の楽器を持ち込んだアンサンブルも可能とし、さらには、国産ピアノ（ヤマハフルコン CFIII—S）との弾き比べも行い利用者の多様な要望に応えた。

（実施回数：10 回 応募総数：141 組 参加人数 50 人 録画 27 人 講評 11 人 アンサンブル 2 人）

オ 安全・安心で快適な施設づくり

(ア) 施設整備

県民文化センターは開館から 56 年が経過していることから、施設の長寿命化を図るため、県と協議のうえ、計画的な修繕を実施し安全確保に努めるとともに、緊急性の高い修繕箇所は優先し、迅速な修繕を実施した。

<指定管理事業部門修繕工事>

大ホール客席床下壁補修工事、国産ピアノ（ヤマハ CFIII—S）オーバーホール、大ホール楽屋 1 号壁クロス修繕など計画修繕 8 件及び緊急修繕で大ホール客席天井修繕、本館正面点字ブロック修繕、サービス課事務所照明 LED 化など 17 件を施工し、安全・安心な施設づくりに努めた。

<県直轄工事>

大ホール外壁塗装工事、分館屋上防水工事など、長寿命化を見据えた工事を実施した。また、自動車用急速充電器設置工事を実施し、環境に配慮した設備の設置を行った。

(イ) 危機管理対策

不特定多数の利用者が来館されることから、全職員及び委託業者等を対象に、年 2 回の避難訓練（火災訓練・大規模地震避難訓練）を実施し、利用者の安全確保に努めた。

また、緊急時に迅速な対応ができるよう、平常時より危機管理への備えを万全にしておくため、危機管理対応マニュアル及び防火管理規定集を全職員及び分館入居団体、業務委託先等に配布し、防災意識向上に留意して利用者の安全確保に努めた。

2 収益事業 1（県民文化センター自主事業）

(1) 売店事業

売店利用状況は、新型コロナウイルス感染拡大による各施設の催事中止や利用人数の制限等の影響を受けた。

このような状況の中、新たに主催等の公演時に大ホールでの臨時ワゴン販売等の取り組みを実施するとともに、引き続き、利用者に営業日の周知等や施設の利用状況に応じた営業日や営業時間にするなど効率的な営業に努めた結果、計画には達しなかったものの、前年度対比で利用者数及び売上額ともに約 1.6 倍増となった。

区 分	R4 実績 (A)	R4 計画 (B)	R3 実績	増 減 (A)-(B)
売店利用者数 (人)	8,145	14,059	4,861	△5,914
売店売上額 (円)	3,716,490	3,871,000	2,303,310	△154,510

(2) 駐車場事業

茨城県から管理許可を受けた千波公園・ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場を、利用者が安全かつ円滑に利用できるよう管理運営を行った。なお、コンサート等催事の際には、適宜、警備員を配置し安全対策を行うとともに、出口渋滞緩和対策として駐車場内での複数の案内板による案内や原則料金所側から出庫してもらうなどの案内を引き続き実施し、出庫がスムーズとなるよう努めた。

結果、駐車場利用台数、料金ともに計画を上回るとともに、前年度対比で利用台数約 1.5 倍、駐車場収入約 1.8 倍の増となった。

区 分	R4実績 (A)	R4計画 (B)	R3実績	増 減 (A)-(B)
駐車場収入	23,584,820 円	20,312,000 円	13,398,010 円	3,272,820
利用台数	120,653 台	99,535 台	80,745 台	21,118
料 金 徴 収 状 況	全額徴収	36,651 台	34,201 台	2,450
	1/4 免除	22,053 台	15,485 台	6,568
	1/2 免除	5,312 台	5,463 台	△151
	全額免除	40,968 台	32,214 台	8,754
	還 付	15,669 台	12,172 台	3,497

3 公益目的事業 2 (水族館事業)

基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通し、生物の多様性や自然環境・地球環境について、楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えた施設として、引き続き「さぁ、新世界！NEW WORLD NEW AQUAWORLD」を基本コンセプトに運営を行った。

さらに令和 5 年 3 月 21 日には、屋外エリアのリニューアルが行われ、「オーシャンテラス」として、「もっと近くで、もっと驚きを」をコンセプトに、生き物たちとの新たなつながりが生まれる新展示として生まれ変わった。

そのような状況下、コロナ禍の中、感染防止対策を実施しながらの営業となり、GW やお盆の時期は、時間制による WEB 予約・年間パスポートのみとするなど入場規制を行い、混雑緩和を図った。

入場者数において、上半期は 711,059 人（予算対比 10.4%増）と好調であったが、下半期から入場者数が減少してきたため、新規イベントや各種割引、年パスキャンペーン等の打ち返し策を実施した。一方、政府の観光需要喚起策として 10 月から始まった「全国旅行支援」より観光客の増加とともに当館への来館者も増えてきた。その結果、3 月の屋外リニューアル効果もあって下半期は 489,641 人（予算対比 7.0%増）となり、総入場者数は、目標の 1,101,800 人を上回る 1,200,700 人となった。

(1) 入場者実績

(単位：人)

区 分	R4実績 (A)	R4計画 (B)	増 減 (A)-(B)	R3実績 (C)
一 般	752,771	930,127	42,143	598,120
団 体 等	219,499			47,291
年間パスポート	29,558	14,250	15,308	20,424
年パス 2 回目以降	90,718	54,925	35,793	53,771
有料入場者計	1,092,546	999,302	93,244	719,606
無料入場者	108,154	102,498	5,656	79,277
総入場者	1,200,700	1,101,800	98,900	798,883

(2) 飼育展示事業・調査研究事業

ア 魚類展示

館内展示水槽の刷新に努め、7 月には「沖縄の海」水槽をスズメダイ類が群れ泳ぐ水槽をコンセプトとした「きらめく珊瑚礁の魚たち」に変更し、併せて「沖縄のサンゴ」「ドロッ

プオフ」「サンゴ礁の砂地」水槽を「珊瑚礁の浅海」「珊瑚礁の断崖」「珊瑚礁の砂地」水槽に名称変更した。また、9月には「くらげ365」水槽周辺のプロジェクター等演出機器を増設することでより効果的な演出を創出した。また同月に「大陸棚の海1」「大陸棚の海2」「大陸棚の海3」「大陸棚の海4」水槽の名称をそれぞれ、「大陸棚に潜むハンター」「大陸棚の奇妙な生き物たち」「大陸棚を彩る魚たち」「未知なる大陸棚」に変更するとともに、照明を調整し、魅力的な水槽演出を施した。3月には屋外エリアリニューアルの一部として「海藻の海」水槽周辺を改修し、屋外部に「潮間帯」「芽吹き」「眼下の世界」水槽を立ち上げた。同月に副調餌室を改修し、「さめっこるーむ」としてオープンした。大型モニターによるサメ繁殖の映像展示のほか、水槽を観覧者側に近づけることで、サメ類繁殖個体や育成中の卵をより間近に観察可能な展示室にリニューアルした。

(ア) 展示生物収集

各水槽の展示の充実を図るため、会瀬漁協や地元漁業者からの購入・寄贈、自家採集、他園館との生物交換等を実施した。(収集計 180 回、収集生物点数 301 種 24,770 点)

(展示生物収集実績)

収集方法	回数	種類数	点数	主な生物
会瀬定置網から購入	10	21	154	マンボウ、アオリイカ、シイラ、キアッコウ、イトヒキアジ 他
活魚業者、漁業者から購入 (会瀬定置網を除く)	96	107	19,650	マイワシ、シンカイウリクラゲ、デバスズメダイ、ヤマメ 他
漁業者等からの寄贈	25	32	660	ナマズ、マハゼ、ニホンウナギ、ボラ 他
県調査船 (いばらき丸)からの寄贈	7	11	64	オオグソクムシ、フトツノザメ、イトマキフグ、アカドンコ 他
自家採集(涸沼、大洗マリーナ等)	36	112	4,107	シラウオ、ハオコゼ、ヤドカリ・カニ・ウミウシ・ヒトデ類 他
生物交換【搬入】 (八景島シーパラダイス、なかがわ水遊園、マリンピア日本海、のとじま水族館、新江ノ島水族館、海遊館 等)	6	18	135	シラコダイ、ニッコウイワナ、ユメカサゴ、ハシキンメ、マアナゴ、カワハギ、アカムツ、ホッコクアカエビ、エパウレットシャーク 他
生物交換【搬出】 (なかがわ水遊園、八景島シーパラダイス、アクアパーク品川、のとじま水族館、新江ノ島水族館、海遊館 等)	8	11	84	トランスルーセントグラスフィッシュ、ニセゴイシウツボ、オオグソクムシ、ホーンシャーク、ミヤコテングハギ 他

(イ) 生物展示の充実

- ・昨年度のシロワニ日本初繁殖に関連し、4月から7月にかけて開催されたイベント「BABY SHARK」において、シロワニ繁殖個体の成長に関する特別展示を実施した。
- ・シロワニ繁殖一周年記念イベントとして、6月に成長の様子をまとめた動画を繁殖個体展示水槽の壁面に投影するという初めての試みを行った。
- ・7月には当館職員が発見者の一人である新種「オトヒメクラゲ」を初展示し、好評により9月まで展示期間を延長した。
- ・8月に繁殖したネムリブカの幼魚3個体を、9月から2月にかけて、出産時の映像と併せて展示した。

- ・11月には県内で収集されたイタチザメを「サメの海2」水槽で展示した。
- ・1月に繁殖したトラフザメの幼魚を、単為生殖が確認された本種繁殖個体としては国内初として、2月から展示した。
- ・上流水槽でのヤマメの展示効果を上げるために実施した給餌体験は、延べ27,627人の参加者数となった。

(ウ) 生物の繁殖育成

サメ・エイ類ではネムリブカをはじめ、トラフザメ、ホーンシャーク、シマネコザメ等11種161点が繁殖した。ネムリブカの繁殖は日本国内で4園館目、当館では初めての事例であった。クラゲ類ではカブトクラゲ、ミズクラゲ、シロクラゲ等7種が繁殖し、一部を展示に供した。

(エ) 調査・研究

12月に高知県室戸で実施した収集調査で採集された稀種「コトクラゲ」を当館初展示種として展示開始した。1月にはオーストラリア連邦科学産業研究機構(CSIRO)に20種類のサメ卵殻を標本として提供した。

東京大学大気海洋研究所のグループと、トラフザメの卵生成等に関する共同研究を同年継続した。

(オ) 研究発表

- ・クラゲ類

6月に animals 誌に共著論文が掲載された。

「*Octorhopalona saltatrix*, a New Genus and Species (Hydrozoa, Anthoathecata) from Japanese Waters」

「日本産の新属新種 *Octorhopalona saltatrix* (ヒドロ虫綱, 花クラゲ目)」

- ・サメ類

6月に ELSEVIER 誌、1月に ZOOLOGICAL SCIENCE 誌に共著論文が掲載された。

「Long-term monitoring of egg-laying cycle using ultrasonography reveals the reproductive dynamics of circulating sex steroids in an oviparous catshark, *Scyliorhinus torazame*」

「超音波検査による産卵周期の長期モニタリングにより明らかとなった、トラフザメ *Scyliorhinus torazame* の循環性ホルモンの生殖動態」

「Segment-dependent Gene Expression Profiling of the Cartilaginous Fish Nephron Using Laser Microdissection for Functional Characterization of Nephron at Segment Levels」

「軟骨魚類ネフロンにセグメント依存的遺伝子発現プロファイリングとレーザーマイクロダイセクションによるネフロンにセグメントレベルでの機能的評価」

(カ) 展示解説等

「バックヤードツアー」については、サメやマンボウ、出会いの海の大水槽で飼育員による給餌解説を実施した。また「BABY SHARK」に合わせ、期間中に給餌体験を組み込んだ「サメスペシャルツアー」を開催した。館内及びバックヤードの案内を希望する学校団体に対しては臨時解説を実施した。

区 分	場 所	回 数	参加者数
バックヤードツアー	5F バックヤード 1F 備蓄水槽	延べ 292 回	4,936 人
サメスペシャルツアー	5 F バックヤード 1F 備蓄水槽	延べ 92 回	870 人
学校バックヤードツアー	5F バックヤード	延べ 37 校	1,303 人

(キ) ミュージアムパーク茨城県自然博物館水系展示水槽管理委託事業

県自然博物館の水系展示水槽の委託業務として、展示生物の入手及び水槽・水質の維持管理を行い、ニッコウイワナ・ウグイ・ドチザメ等 78 種 743 点を展示した。また、館外においては、大洗マリーナでの潜水採集、磯採集等で収集を行い展示生物の充実を図ったほか、サイエンスデーでは、「バックヤードツアー」事業に協力し、標本資料の保管、博物館の定期刊行誌に寄稿するなど、博物館との連携協力を努めた。

イ 海獣展示

オーシャンライブについては、館イベントの一環として特別バージョンライブを夏・秋・クリスマス・正月に実施した他、茨城ロボッツとのコラボや大洗町成人式、県の交通安全キャンペーン等で特別ライブを実施対応した。

また、3月21日より従来のサブステージを拡張した「エキサイティングステージ」を稼働し、より近くでカリフォルニアアシカのダイナミックな動きを堪能できるほか、従来より行っていたアシカの2頭出演の頻度を上げることで、通常のライブ内容にも幅が生まれた。

展示水槽については、県工事により屋外エリア3槽及び5階・6階「なごみの海ゾーン」の3槽について、経年劣化が激しく、動物の安全上望ましくない古い擬岩を撤去し、安全で新しいプログラムの実施に適した水槽へとリニューアルを行った。

(ア) 展示の充実

- ・オーシャンライブでは、館内のイベントと連携を図り、特別バージョンのライブを実施した。特に夏期のライブでは観客参加型のライブ「HOT&COOL」を実施し、参加者が使用するマフラータオルやうちわの販売もシアター前で実施した。また、今年度初の取り組みとして、茨城県警の交通安全キャンペーンに合わせたライブを実施した(7月25日)ほか、ねば〜る君、あつこおねえさん、茨城ロボッツなどとのコラボライブも実施した。
- ・12月26日には、水戸葵陵高等学校書道部とカリフォルニアアシカとのコラボレーションで書道作品を制作するパフォーマンスを実施し、完成した作品を館内に掲示することで正月のイベントを盛り上げる一助とした。
- ・動物展示については、リニューアル工事に伴い、ゴマフアザラシ、エトピリカなどは従来と違った水槽での展示を行うことで、展示できない期間を可能な限り減らし、展示を継続することとした。また、屋外部分についてもリニューアルと同時にプログラムがスタートできるよう工事中も馴致訓練等を行った。
- ・水槽リニューアルにあたっては、動物の安全や健康への影響はもとより、様々なプログラムでの見せ方や今後の繁殖にあたっての安全性等にも考慮し、設計・施工業者と調整を行った。

(イ) 生物繁殖事業の推進

- ・エトピリカは、12卵の産卵があり8羽が孵化した。うち3羽が順調に成長している。
- ・ペンギンは、50卵の産卵があったが、無精卵、抱卵途中での破卵、血統を考慮した廃

棄等により、育成は1羽にとどまった。

(ウ) 調査・研究活動の推進

漂着については、鯨類9件、鰭脚類1件の調査を実施し、各種データの収集に努めた。また、東京大学・大気海洋研究所の研究テーマ「フンボルトペンギン塩類細胞の組織・発生学的研究」に対し、フンボルトペンギンの卵を提供した。また、水産庁から、日本鯨類研究所と日本水族館協会が受託した「寄鯨調査事業」に関東近隣地区事務連絡担当館として協力し、県内での目撃例アンケート調査を行った他、12月15日のザトウクジラの漂着の際は共同でサンプル採取等を実施した。

また、令和5年度にバンドウイルカの人工授精について新江ノ島水族館に精子を提供するための契約を令和5年3月に締結し、精子採取方法などについて準備を進めている。

(エ) 展示解説等

新型コロナウイルス感染症により屋内・屋外の給餌解説については休止していたが、3月21日の屋外エリアリニューアルオープンに合わせて、より親しみやすい名称「もぐもぐタイム」として再開した。また「もっと近くで、もっと驚きを」というオーシャンテラスのキャッチフレーズに合わせた新たなプログラムとして「カリフォルニアアシカのおさんぽタイム」を開始した。なお、フンボルトペンギンの「おさんぽタイム」については、3月1日に県内で高病原性鳥インフルエンザが確認されたため、年度内の実施は見合わせる結果となった。

「イルカとふれあおう」について、初めてWEBでの予約を行い、実施回数全24回、120人の参加があった。

また、新規の有料プログラムである「アシカタッチ」や「ペンギンタッチ」「ペンギンフォト」については、屋外エリアの工事の進捗や動物の状況に合わせて実施したほか、バレンタインナイトやクリスマスナイトといった特別感のあるナイト営業の際には、動物たちと一緒に写真が撮れる「イルカフォト」や「アシカフォト」を開催した。

昨年度より開始したエキサイティングシートについては、土日や連休などを中心に開催し、3月21日のエキサイティングステージ稼働後は席数を減して開催を継続している。

区分	場所	回数	参加者数
イルカとふれあおう	ライブ用デモプール	24回	120人
ナイトフォト(イルカ・アシカ)	アクアホール or デモプール	12回	48組
カワウソのごはん	カワウソ水槽	2回	6組
イルカタッチ	ライブ用デモプール	96回	2,138人
ペンギンのごはん	ペンギン水槽	45回	1,128人
アシカと握手	シアター→屋外	39回	551人
エキサイティングシート	ライブ会場	77日	7,260人

(3) 教育普及事業

生物や環境について、楽しみながら学ぶことができる活動を目的に館内外で解説・講習・自然体験塾等の活動を実施した。ホームページや機関誌を通して水族館に関連した各種情報の提供に努めるとともに、学校等からの要請によりオンラインでの講師派遣を開催した。その他、生涯学習施設としてボランティア活動支援を行った。

ア 発見体験学習

募集型の事業として「自然体験塾」「マスタースクール」を開催し、4月実施の講座こそ

定員割れであったが、以後ほとんどの講座で定員を大きく上回る申し込みがあった。特にサメの講座や海獣類の講座に人気が集中したほか、講座は、台風や鳥インフルエンザによる中止があり、12講座23回の実施で計367名の参加者となった。

イ コンピュータ情報運用管理

館内の情報端末において、水槽展示生物トピックス情報や環境保全、水族館の機能や役割等に関して情報発信を行ったほか、コンピュータシステムの正常な稼働を確保するための管理を行ったが、端末の老朽化や感染症対策のため、全ての端末の撤去を行った。

ウ ボランティア活動支援

ボランティアグループ「マンボラクラブ」の支援を行う予定であったが、コロナ禍のため、上半期はすべての活動を休止となったが、概ね月1回の役員会を開催した。10月1日のボランティア総会後は、新たな活動拠点となった生き物発見教室のレクチャールームで活動を再開した。

ボランティア登録者数	51人（令和5年3月31日）
活動時間	延べ150時間
活動者数	延べ32人

エ 機関誌「Sea遊」の発行

水生生物等への理解促進を支援するとともに、水族館のイメージアップ、広報を図るため、展示生物の興味深い生態やトピックス等の様々な情報を紹介する機関誌を年2回発行し、国内の動物園・水族館をはじめ、県内教育機関及び栃木県の小中学校の一部の小学校へ配付した。（発行部数：41号4,000部、42号4,000部）

オ 自然教室等への講師派遣

教育機関等の要請に応じた各種館外活動に関しては、魚類展示課・海獣展示課と連携して実施及び調整を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響からオンラインでの講師依頼が多かった。

区分	実施日	対象	内容
オンライン授業	11月9日（木）	常陸大宮市立大宮中学校	生物関連
講師派遣	11月14日（月）	鹿嶋市立中野東小学校	移動教室
オンライン授業	11月17日（木）	つくばみらい市立伊奈中学校	生物関連
講師派遣	2月2日（木）	大洗町立大洗小学校	移動教室
講師派遣	2月17日（金）	水戸市立常澄中学校	職業講話
講師派遣	3月2日（木）	潮来市立潮来第二中学校	職業講話

カ 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じて、水生生物や飼育設備等をテーマとして各種館内活動を行った。

区分	対象	件数	参加者数
職場体験	中学生～高校生	2件	4人
バックヤード見学	小学生～大学・専門学校生	39件	1,457人

キ 実習生等の受入れ

令和2年1月の連携協定に基づき、茨城大学大学院教育学研究科の実習生11名を受け入れた。(実習期間；令和4年12月21日～令和4年12月25日の間計5日間)

コ 生物解説アプリ

今年度はスマートフォンを活用した「かざすAI図鑑」(リンネレンズ)の運用を継続したが、利用者数が伸び悩んだため今年度で終了した。

(4) プロモーション活動(広報・営業)

今年度は、日本初誕生のシロワニ幼魚の誕生日イベントや当館初となる「ネムリブカ赤ちゃん」の一般公開を行うなど、「サメの水族館」としてのブランド強化を後押しする話題をはじめ、共同研究による新種の「オトヒメクラゲ」の世界初展示は県内外のメディアで多く取り上げられ、大きなPRとなった。また、人気のキャラクターやアニメとのコラボイベント開催、3月の「オーシャンテラス」オープンなど話題が尽きることなく、開館以来、歴代3位の入場者数を記録することができた。

広報媒体については、紙媒体から脱却し、WEBやSNSによる情報発信を強化。SNSは更新頻度を維持し、旬な情報を随時投稿したほか、イベントに合わせて他社とのSNSコラボ企画を試みるなど、さらなるフォロワー取得と情報の拡散に努めた。

営業活動においては、周辺ホテルと連携した「宿泊プラン」の販売や大洗町のふるさと納税返礼品に体験型商品等を追加し、地元との関係強化に努めた。また、ユニークベニューでは「シャークダイズルーム」を新エリアとして導入し、水族館の魅力を生かした新たな利用を図った。

ア 広報実績

WEBおよびSNSを中心に情報発信を行った。今年はYouTubeを中心にWEB媒体の撮影機会が増え、新しいプロモーションツールとして積極的に受け入れを行い、情報露出の拡大につながった。新種のクラゲ「オトヒメクラゲ」は多くの新聞やテレビの全国放送でも取り上げられるなど水族館らしい生物の話題を中心に、常に新しさを感じさせる話題を提供することができた。

さらに、新屋外エリア「オーシャンテラス」においては、内覧会を開催することで、県内外のメディアを誘致し、数多くの取材の受け入れに成功した。

区分	有料広報			無料広報		
	R4実績 (A)	R3実績 (B)	増減 (A)-(B)	R4実績 (C)	R3実績 (D)	増減 (C)-(D)
新聞掲載	3件	0件	3件	187件	185件	2件
タウン誌	0件	0件	0件	2件	4件	△2件
情報誌	0件	0件	0件	28件	55件	△27件
広報誌	1件	1件	0件	14件	12件	2件
テレビ	0件	0件	0件	52件	50件	2件
ラジオ	10件	0件	10件	6件	9件	△3件
Web	289件	159件	130件	48件	23件	25件
その他	7件	2件	5件	7件	0件	7件
計	310件	162件	148件	344件	338件	6件

(ア) 有料広報

情報の発信については、WEB媒体を中心にPRを行った。下期は、アニメ「宇宙兄

弟」とのコラボイベントの開催に合わせてつくばエクスプレスでの鉄道広告を実施したほか、3月の「オーシャンテラス」オープンでは、当館では初めてとなるJR山手線まど上モニターでの動画によるPRを展開した。

(イ) 無料広報

シロワニ幼魚の誕生日イベントや新種のクラゲ「オトヒメクラゲ」の世界初の展示、「オーシャンテラス」オープンなど年間を通して水族館ならではの生物の話題を中心に、新聞記事やテレビなど多くのメディアに取り上げられた。

SNSにおいてはTwitterとInstagramを中心に情報発信をおこなった。Twitterは約18万5千のフォロワー数を誇っており、生物情報、イベント情報、駐車場の満車状況など、様々な情報を発信。その中でも「サメの水族館」のブランド定着もあり、サメ類のツイートの反応がよく、フォロワー数の増加に貢献した。Instagramについては、1万5千人を超え、生物情報を中心にURLリンクを利用したイベントPRなども取り入れた投稿を実施した。

イ 営業活動等

コロナ禍により首都圏からの利用が増えていることから、首都圏を意識した情報発信に努め、圏央道周辺の埼玉、千葉をはじめとした隣県に道の駅等公共施設へ各季節のイベント等のリーフレットやチラシ配布をした。県内外の学校へは市町村教育委員会を通じ、利用案内資料をダイレクトメール発送した。ユニークベニューでは新たな利用エリアを加え、茨城ウエディング協議会等へパンフレット配布や説明会を実施した。その他、県と協力した茨城空港利用の海外団体誘致促進活動や茨城ディスティネーションキャンペーンのPRをした。

(ア) 営業活動

・ユニークベニュー利用誘致活動

4月に茨城ウエディング協議会会員企業への説明会、内覧会を実施したほか、県内の公共施設及び県内外観光施設へパンフレット配布。7月からはユニークベニューの法人向け貸切りパーティー利用エリアとして、シャークダイズルームを追加した。年度内利用は31件あった。

・リニューアルのPR活動

県内の公共施設及び県内外観光施設、宿泊施設、内覧会参加観光業者へリーフレット・チラシ配布。

・県内外の観光業者等へダイレクトメールの発送および訪問営業のほか、八景島シーパラダイスの営業担当者と北関東、東京方面の旅行会社へ合同営業をした。

・学割（2/1～3/31）利用誘致活動

生協の協力のもと、県南、県北・県央地域の個人宛ほか、県内の集客施設、県内及び商圏内の高校、専門学校、大学へチラシ配布をし、期間中5,486人の利用があった（目標：3,900人）。

・ナイトアクアワールド利用誘致活動

生協の協力のもと、県南、県北・県央地域の個人宛ほか、県内の集客施設、県内及び商圏内の高校、専門学校、大学へチラシ配布した。

・地元ホテルとの連携

宿泊プランで当館を利用する大洗町周辺ホテル10社に、水族館で提案したアソビユーを活用したBtoBシステムに加入してもらい、利用者のサービス向上を図った。

・県内外の学校への情報発信。

(単位：件数)

区 分	小学校	中学校	高 校	合 計
茨城県	468	209	112	789
栃木県	361	156	71	588
埼玉県	521	0	130	651
千葉県	502	0	127	629
群馬県	253	0	69	322
福島県	193	98	59	350
合 計	2,298	463	568	3,329

(イ) 地元との関係強化

- ・大洗町ふるさと納税返礼品として、年間パスポート以外に、売店商品 10 品を追加した他、体験型バックヤード見学等を盛り込んだ商品を造成した。年度内利用は 411 件 1,055,670 円となった。
- ・年間パスポート販売促進の一環として、大洗町内 4 店舗（ココス、大洗まいわい市場、シーフードレストランメヒコ、めんたいパーク）による特典事業を継続し、年間パスポートの魅力をアピールした。年度内に 2,143 件の利用があり好評を得た。
- ・大洗町成人式の開催（令和 5 年 1 月 8 日）
大洗町の成人式を開催し、その後貸し切りにて特別イルカ・アシカオーシャンライブを行った。（参加者 113 名。）

(ウ) 茨城ディステーションキャンペーン PR

- ・茨城 DC 全国宣伝販売促進会議（11 月 8～9 日）において、県の協力のもと茨城県枠で水族館のブースを出展した。プレ DC のエクスカッションとして、11 月 9 日にトラベルエージェント対象の水族館バックヤード見学及びガイドツアーに対応した。

(エ) インバウンド誘致

- ・茨城空港利用の海外団体について県と協力した誘致促進活動の一環として、2 月 5～8 日に台湾で開催された「台湾いばらき大商談会」に参加し、パンフレット及びチラシを配布した。旅行業者 30 社と繋がりを持つことができ、そのうち 3 社とツアー造成が確定した。3 月 26 日には茨城空港台湾運航再開祝賀会に参加し、利用案内資料を配布した。

(オ) オンライン会議

- ・八景島シーパラダイスの営業担当との情報共有やアドバイス（1 回/月）を受けた。

(カ) 内覧会の開催

- ・3 月オープンの「オーシャンテラス」及びオーシャンシアター内エキサイティングステージのお披露目のため、メディア関係者や県・大洗町関係者を招待し、内覧会を開催した。

イベント名	開催日時	開催場所	メディア参加者
オーシャンテラス	3 月 2 0 日（月） 10：00	オーシャンテラス オーシャンシアター	14 社 20 名

ウ 来館者調査の実施

- ・毎月第 4 日曜日等に車輛ナンバー調査。
- ・新型コロナの影響により大移動は控え、比較的近場で、より安心・安全な郊外（地方）を選ぶ傾向にあったが、2018 年のコロナ前の水準以上に回復した。

(5) 事業推進活動・オペレーション

ア 催事等

開館20周年記念事業として、令和4年3月1日から4月10日まで開催した「THANKS 20YEARS in AQUAWORLD」は各種体験プログラムやピルル・ブルルグリーティング、サンクスガチャ等のイベントを実施し、来館者に感謝の意を表した。

6月に日本初繁殖となったシロワニ No.9 の1歳の誕生日を迎えるため、それに先駆けて幼児を中心に人気のアニメ、ベイビーシャークとのコラボイベント「ベイビーシャーク in アクアワールド・大洗」(4月29日～7月3日)を開催し、企画展示室での特別展示やキーワードラリーで盛り上げた。また、6月17日～19日の3日間、シロワニ No.9 の誕生日セレモニーや誕生記録の映像を公開し、話題提供をした。

7月16日から8月28日にかけて開催した「SUMMER AQUAWORLD2022 ～HOT & COOL」は、オーシャンライブ、IWASHI LIFE のHOT&COOLバージョン、展示生物の特徴等で分けたHOT水槽、COOL水槽などアイデアを駆使したイベントであった。

また、同じ7月16日からお菓子メーカー、ギンビスとコラボした「たべっ子水族館」を開催し、ノベルティ付クイズラリーは幅広い客層に知名度のある商品の人気もあって売り上げは好調であった。

9月17日から10月31日にかけて「AQUA WORLD FESTIVAL」と題し、ハロウィンにちなんだ水槽装飾、オーシャンライブ、IWASHI LIFEにおけるハロウィンバージョンの演出を行い、季節感溢れる展示、演出で話題提供を行った。また、海浜公園で見頃を迎えるコキアとコラボした水槽展示も行った。

一方、屋外リニューアルのため工事期間中、屋外や一部生物が観覧できないことから、閉鎖部分の魅力をカバーし、バリューアップを図る目的でプロポーザルにより決定した冬イベント「宇宙兄弟とめぐる、海のふしぎ」を11月19日から3月26日まで開催した。

同イベントはキャラクターの認知度の影響もあり、クイズラリーや物販等の売上においてかなり苦戦をしいられたイベントとなった。

また、年末年始は「新春アクアワールド」と題し、水戸葵陵高等学校書道部とアシカが共演し書道パフォーマンスを披露するなど、書道作品や干支水槽を展示するなど新春ならではのイベントを開催した。

「アクアワールド・大洗×茨城ロボッツ」は、2月19日、茨城ロボッツの中村功平選手が1日館長となり、オーシャンライブをはじめ茨城ロボッツファンが多く来館し盛り上がった。

夜間営業は主として土曜日の夜に毎週開催した。夏期やクリスマスナイトなど特別ナイトは入館者増となったが、閑散期には入場者数が200名を下回り、打ち返しを検討することが多かった。夜間入場者総数は、16,309名(前年度対比26.4%増 前年度は臨時休館有り)となった。

(日中営業)

実施日	催事名	入場者数
3月1日(火)～4月10日(日)	THANKS 20YEARS in AQUAWORLD	117,383人
4月29日(金祝)～7月3日(日)	ベイビーシャーク in アクアワールド・大洗	237,271人
6月17日(金)～7月3日(日)	シロワニ誕生日スペシャル	
7月16日(土)～8月28日(日)	SUMMER AQUAWORLD2022 HOT&COOL	471,954人
7月16日(土)～10月31日(月)	たべっ子水族館 in アクアワールド・大洗	
9月17日(土)～10月31日(月)	AQUA WORLD FESTIVAL	
11月12日(土)～12月25日(日)	あつこおねえさん in アクアワールド・大洗	4,458人

11月19日(土)～3月26日(日)	宇宙兄弟とめぐる、海のふしぎ	342,799人
12月26日(月)～1月22日(日)	新春アクアワールド	
2月4日(土)～3月31日(金)	アクアワールド・大洗×茨城ロボッツ	
計	10事業	1,173,865人

(夜間営業)

実施日	催事名	入場者数
4月2日(土) 9日(土) 16日(土) 23日(土) 5月14日(土) 21日(土) 28日(土) 6月4日(土) 11日(土) 18日(土) 7月2日(土) 23日(土) 30日(土) 8月6日(土) 20日(土) 27日(土) 9月3日(土) 10日(土) 17日(土) 10月1日(土) 8日(土) 15日(土) 22日(土) 29日(土) 11月5日(土) 12日(土) 19日(土) 26日(土) 12月3日(土) 10日(土) 30日(金) 1月2日(月) 7日(土) 8日(日) 14日(土) 21日(土) 1月28日(土) 2月4日(土) 18日(土) 25日(土) 3月4日(土) 11日(土) 18日(土) 25日(土)	NIGHT AQUAWORLD	11,317人
4月30日(土) 5月7日(土)	のぞき見ナイトプレミアム	951人
7月9日(土)	NIGHT AQUAWORLD with ねばーる君	524人
7月16日(土) 17日(日)	シンプルナイト	674人
9月23日(金祝) 24日(土)	クラゲナイト	751人
12月17日(土) 24日(土) 25日(日)	クリスマスナイト	1,733人
2月11日(土)	バレンタインナイト	359人
計	7事業	16,309人

イ オペレーション等

(ア) Web 販売

昨年同様アソビュー株式会社の日時指定型の Web チケットでチケット販売数に上限を設けることにより、最繁忙期の入場者数のコントロールに努めた。同社のシステムによる Web チケットの運用と並行し、リロクラブ、JR 東日本、EPARK などの限定で割引チケットを販売。割引施策のオンライン化により窓口でのチケット販売が不要となり、窓口混雑の緩和を推進した。

(入場者数管理を目的とした Web チケットの販売)

区分	内容
①ゴールデンウィーク 4月29日(金祝)～5月5日(木祝)	日時指定 Web チケットのみ販売・入場 (年パス再入場、減免割引は OK、各種割引は停止)
②8月お盆時期 8月11日(木祝)～15日(月)	Web チケットのみ販売・入場 (年パスは新規も再入場も OK、減免割引も OK、各種割引は停止) 16:00 以降は 2 割引き (アフターチケット)

(誘客を目的とした特別 Web チケットの販売)

名称	販売期間
各種ナイト営業	毎週土曜日 (入場券、BY 付入場券、特別ナイトフォトチケット等)
BS メロディーキューブベイビーシャーク付きチケット	5月6日(金)～7月3日(日)
アクアワールド茨城県大洗水族館×アリス・ギア・アイギスコラボイベント	※ローソンチケットにて販売 9月30日(金)～12月4日(日)
たべっこよくばりセット	10月1日(土)～10月31日(月)
あつこおねえさん in アクアワールド・大洗「みんなの水族館」ワークショップ	11月12日(月)
オーシャンテラスプレオープン鑑賞券	3月20日(火祝)

(イ) 窓口・インフォメーション業務

区 分	内 容
新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策	・昨年度からの感染対策の徹底 ・ピープルカウンター導入による館内滞留人数の随時把握
団体予約制限	入場者数管理の観点から感染状況に応じて、適宜予約数を決定・周知。
入場制限	3連休の中日である7月17日(日)には滞留者数が一時3,000名を超過するなど大きな混雑となったため、入場ゲート封鎖を伴う入場制限を実施した。
地元商品券の利用促進 ・大洗町プレミアム付商品券	大洗町発行の商品券の利用に対応。地元町民との結びつきにアプローチした。
地元企業との連携	年間パスポートの特典として、地元企業との連携(割引)などを開始した。
「いば旅あんしん割」 「いば旅リピーターチケット」 への参画	1月からはregionPAYに完全移行しやや利用が落ち着いたものの、入場だけでいば旅あんしん割(regionPAY含)34,530枚、いば旅リピーターチケット4,301枚の利用があった。

(6) 管理運営部門

ア 管理運営

入場者の安全を確保するため、有事の際に迅速な避難誘導を行えるよう通常実施している消防訓練のほか、地震による津波を想定した防災訓練を実施し、職員の危機管理対応力の向上に努めた。また、原発事故の風評被害払拭のため、放射線量の測定を毎日継続するとともに、その結果をホームページにて公表し、安全性のアピールにも努めた。

さらに、敷地内構内道路の安全対策として、大型バス駐車場にある身障者駐車場へ安全に誘導するため横断歩道の設置に加え、歩道部分を切り下げて転倒事故防止等に努めるとともに、歩道部分が目立つよう赤色の塗装及び防滑加工を施工したことで、安心・安全な環境を整備した。

その他、喫煙所を大型バス駐車場脇に設置したことで、3階事務室内の受動喫煙を防止し、労働環境改善に寄与した。

イ 助成金・支援金の活用

コロナ禍に伴い、茨城県や文化庁等からの補助金及び助成金等を申請して、資金の確保に努めた。

ウ テナント関連事業

マーケットプレイス連絡会議の事業では、休館日を利用して実施していた先進施設視察研修は、コロナ禍により今年度も中止とした。食の安全に関する研修は、水族館職員と同様にオンラインにて実施した。また接遇研修は感染対策を講じながら、接遇マナーの研修を実施した。

エ 施設整備

中長期修繕計画を基本に各種修繕工事を実施するとともに、強風や高潮等の自然災害による建築設備修繕並びに機械設備の経年劣化等不具合による突発的な修繕に対応するなど、施設の安全・維持管理対策に努めた。また、2階バックヤード防水工事及びフードコート厨房内に一酸化炭素警報器を取付けたことにより事故防止対策を実施したことで、より安心・安全な環境の整備など、延べ187件（昨年107件）の工事を実施した。

さらに、機械設備の経年劣化に対応するため、受変電設備更新（VCB）、UPS蓄電池更新、コンデンサ・リアクトル更新、観覧室系統排煙機（FSM-1）更新を実施し、建築設備では、3か年にわたり実施してきた外壁塗装改修工事の3か年日を実施した。

省エネルギーについては、省エネルギー委員会を毎月開催し、職員の省エネ意識の向上を図るとともに、省エネ対策として、上水や海水使用量の見直しやLED照明への転換を進めたことに加え、アトリウムや館内のLED照明等省エネ性能に配慮した機器の導入に努めた。また、営業時間の見直しによるエネルギー使用量の削減及び省エネ結果として、省エネ法で定めるエネルギー使用量5年平均1%以上削減目標を達成し、前年比1%削減することができた。事業者クラス分け評価制度において、2016年度から連続Sクラス省エネ優良事業者（目標達成事業者）として、資源エネルギー庁のホームページで公表された。

4 収益事業2（水族館売店事業）

（1）物販部門

地域に貢献する観光拠点施設としての役割を踏まえ、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を施しながら、マーケットプレイスの物販部門及び水族館内のコレクターズショップ、リラックスカフェの運営を行った。

スーベニアショップ「モラモラ」において、当館のイベント期間に合わせたオリジナル商品の開発を行い、販売に注力したイベント専用ワゴンを常時設置した。また、当館オリジナルのシロワニの赤ちゃんのぬいぐるみのリサイズ版（Mサイズ）を販売したほか、飼育羽数日本一のエトピリカをモチーフにしたグッズのアイテム数も増やした。

今年度も「すみっこぐらし」水族館限定2022の新商品を取り扱い、また当館限定の「えびふらいのしっぽ」シリーズ第3弾として、えびふらいのしっぽウツボの「てのりぬいぐるみ」と「あつめてぬいぐるみ」を新たに販売、シリーズ第一弾・第二弾も追加継続再販し、ツイッター等SNSでも全シリーズ大きな反響を呼んでいる。

新春イベントでは1月2日～3日に、福引販売を行い、2日間で998個を完売し好評を得た。

高病原性鳥インフルエンザが日本各地で猛威を振るう影響により、卵を使用した食品の入荷が滞ることもあり注視している状況である。

コレクターズショップ「ガレオス」では、職員による手づくりサンゴトラザメの卵殻標本を毎月10個限定で販売を実施し、全て好評を得て完売したため、3月は試験的に20個販売するも3月中に完売した。また、当館のシロワニの抜歯を使用したチョコカー等を昨年に引き続き製作し数量限定で販売を行いほぼ完売した。

飼育員監修のオリジナルクラゲの下敷きにつき、オリジナルサメの下敷きを発売、売行きは学生から大人まで好調である。

昨年新水族館開館20周年を記念して数量限定で販売した、オリジナルクラフトビールの継続

販売を行い、売行きは良好である。

レジ袋の有料化を昨年3月1日より開始し1年が経過した。環境に配慮したLIMEX（石灰石）使用の4サイズレジ袋をロゴデザインに変更、価格も1枚5円～20円で販売し、レジ袋提供枚数は1年経過後もほぼ1/2削減されていた。

令和5年3月13日からのマスク着用自由化に伴い、各レジ飛沫飛散防止シート及び飲食スペースにおけるテーブルに設置した飛沫飛散防止アクリル板を撤去した。

(2) 飲食部門

リラックスカフェ「マーメイド」ではイベントとタイアップした商品開発や、特別メニューの開発、季節メニューなどの販売を行ったほか、イベントで使用した食材の在庫を利用した新たな商品開発を行いフードロスの削減にも努めた。

ナイト営業においてナイトメニューの見直しを行い、新たに2メニューの入替を行い販売した。

繁忙期の9月には、レジの回転を少しでも良くする取り組みとして、提供メニュー数の見直しや調整を行うなど今までにない取り組みを行った。

(売上実績)

(単位：円)

物販部門		飲食部門	
区 分	売上額	区 分	売上額
モラモラ・ガレオス (R4 計画比) (R3 実績比)	761,208,325 (123,986,706) (281,240,385)	マーメイドギャラリー (R4 計画比) (R3 実績比)	100,609,000 (△887,845) (25,299,360)
自動販売機 (R4 計画比) (R3 実績比)	11,668,198 (22,837) (5,078,310)	—	—
計 (R4 計画比) (R3 実績比)	772,876,523 (124,009,543) (286,318)	計 (R4 計画比) (R3 実績比)	100,609,000 (△887,845) (25,299,360)
水族館売店事業合計 (R4 計画比) (R3 実績比)		873,485,523 (123,121,698) (25,585,678)	

(利用率)

物販部門		飲食部門	
総入場者数(A) (R3 実績)	1,200,700 人 (798,904 人)	総入場者数(A) (R3 実績)	1,200,700 人 (798,904 人)
利用件数(B) (R3 実績)	297,266 件 (206,509 件)	利用件数(B) (R3 実績)	78,154 件 (64,365 件)
利用率(B)/(A) (R3 実績)	24.8% (25.8%)	利用率(B)/(A) (R3 実績)	6.5% (8.1%)

※利用件数は、レシート発行数による利用。

5 法人運営事業

茨城県立県民文化センター及びアクアワールド茨城県大洗水族館をはじめ、財団業務の適切な運営を図るため、理事会及び評議員会をはじめ、諸会議の開催、財務及び組織の適切な管理を行ったほか、オンライン研修及び特別研修としてのハラスメント研修など各種研修の実施により、人材育成・内部統制の強化にも努めた。

なお、コロナ禍の影響による利用者減少の収入減を補填するため、各種助成金（文化庁文化芸術振興費補助金 他）を積極的に活用して財源確保を図った。

(1) 理事会・評議員会等開催実績

項目	開催日	議案
監事監査	5月10日(火)	令和3年度事業報告及び決算
令和4年度第1回理事会 (出席人数 9/12)	5月13日(金)	第1号議案：令和3年度事業報告及び決算について 第2号議案：令和4年度定時評議員会の招集について
令和4年度定時評議員会 (出席人数 9/12)	5月30日(月)	第1号議案：評議員1名選任の件 第2号議案：理事1名選任の件 第3号議案：令和3年度決算について
令和4年度第2回理事会 (決議の省略による理事会)	7月22日(金)	第1号議案：臨時評議員会決議の省略の件 第2号議案：評議員1名、監事1名選任の件
令和4年度臨時評議員会 (決議の省略による評議員会)	7月29日(金)	提案事項：評議員1名、監事1名選任の件
監事監査	12月7日(水)	令和4年度上半期事業報告及び決算
令和4年度第3回理事会 (出席人数 9/12)	12月20日(火)	議案：令和5年度自主公演事業計画及び収支見込み承認の件
令和4年度第4回理事会 (出席人数 9/12)	2月24日(金)	議案：アクアワールド茨城県大洗水族館管理規程一部改正の件
令和4年度第5回理事会 (出席人数 10/12)	3月24日(金)	第1号議案：令和5年度事業計画及び収支予算承認の件 第2号議案：減価償却資産取得資金の目的外取崩の件 第3号議案：諸規程の一部改正の件 第4号議案：令和5年度役員賠償責任保険継続加入の件

(2) 新型コロナ関連助成金申請実績

NO	項目	内容	助成額	
1	文化振興推進事業 指定管理事業 (県民文化センター)	文化庁文化芸術振興費補助金	22,495,169円	24,749,169円
		事業復活支援金	750,000円	
		事業継続応援支援金	200,000円	
		県有施設管理業務支援金	835,000円	
		県有施設入居事業者支援金	469,000円	
2	大洗水族館事業	文化庁文化芸術振興費補助金	171,000円	1,756,000円
		事業復活支援金	750,000円	
		県有施設管理業務支援金	835,000円	
計			26,505,169円	

(3) 県電気料等支援

県から電気料等の高騰に伴い、県民文化センター及び大洗水族館に対し支援がなされた。

(県支援額：113,219千円<内訳：センター6,973千円、水族館106,246千円>)

Ⅱ 決算報告書

○ 正味財産増減計算書	23 ~ 24
○ 正味財産増減計算書内訳表	25 ~ 26
○ 貸借対照表	27 ~ 28
○ 計算書類に対する注記	29 ~ 32
○ 附属明細書	33
○ 財産目録	34 ~ 35

令和4年度 公益財団法人いばらき文化振興財団正味財産増減計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産等運用益	312,900	312,900	0
② 特定資産運用益	2,235,747	1,979,171	256,576
退職給付引当資産運用益	306,139	51,590	254,549
積立資産運用益	1,929,608	1,927,581	2,027
③ 事業収益	2,868,335,877	1,963,638,787	904,697,090
自主公演入場料収益	29,789,800	6,994,300	22,795,500
受託公演入場料収益	0	359,000	△ 359,000
手数料収益	9,777,567	6,954,766	2,822,801
負担金収益	9,013,257	2,200,000	6,813,257
受託公演委託金収益	27,368,783	25,815,505	1,553,278
県民文化センター指定管理収益	193,361,686	193,167,800	193,886
県民文化センター利用料収益	93,219,965	69,649,931	23,570,034
自然博物館水系展示水槽 管理委託金収益	15,721,996	14,776,107	945,889
水族館入場料収益	1,589,295,990	1,066,152,590	523,143,400
飲食料収益	0	0	0
売店収益	877,202,013	564,170,778	313,031,235
駐車場利用料収益	23,584,820	13,398,010	10,186,810
④ 受取補助金等	183,129,434	157,479,759	25,649,675
受取財団運営費補助金	47,747,265	49,749,259	△ 2,001,994
県有施設支援金収益	107,916,000	469,000	107,447,000
受取助成金	27,466,169	32,261,500	△ 4,795,331
受取水族館20周年事業補助金収益	0	75,000,000	△ 75,000,000
⑤ 雑収益	55,169,267	29,876,502	25,292,765
⑥ 指定正味財産からの振替額	0	0	0
経常収益計(A)	3,109,183,225	2,153,287,119	955,896,106
(2) 経常費用			
① 事業費	2,656,032,640	2,120,630,204	535,402,436
文化活動団体等助成金	14,167,000	13,061,000	1,106,000
役員報酬	11,947,449	12,031,384	△ 83,935
給料手当	546,649,858	524,299,139	22,350,719
臨時雇賃金	4,741,989	2,878,085	1,863,904
福利厚生費	6,910,433	6,998,536	△ 88,103
法定福利費	85,737,173	82,061,895	3,675,278
報償費	8,358,000	8,198,690	159,310
旅費交通費	3,445,303	1,627,484	1,817,819
接待交際費	20,000	20,000	0
消耗品費	50,096,661	36,340,190	13,756,471
燃料費	69,205,366	43,508,695	25,696,671
会議費	388,618	267,696	120,922
印刷製本費	12,513,519	10,912,670	1,600,849
光熱水料費	269,773,603	172,551,314	97,222,289
修繕費	58,795,153	30,968,638	27,826,515
飼料費	28,898,406	25,634,026	3,264,380
医薬材料費	1,409,491	1,693,847	△ 284,356
賄材料費	39,856,078	29,929,956	9,926,122
通信運搬費	4,476,785	4,185,609	291,176
広告宣伝費	11,968,081	6,000,130	5,967,951
支払手数料	78,730,491	41,511,602	37,218,889
保険料	1,576,940	1,822,306	△ 245,366
委託費	609,491,701	599,644,406	9,847,295
賃借料	32,993,589	25,656,116	7,337,473

(単位:円)

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
	工事請負費	48,921,511	27,243,260	21,678,251
	原材料費	472,585,235	299,370,865	173,214,370
	生物購入費	7,357,424	7,002,490	354,934
	消耗備品費	0	0	0
	支払負担金	4,009,293	1,954,070	2,055,223
	租税公課	110,792,023	63,533,250	47,258,773
	退職給付費用	45,536,222	21,433,714	24,102,508
	雑 費	10,369	2,600	7,769
	修繕工事負担金	0	0	0
	県納付金	0	359,000	△ 359,000
	減価償却費	14,668,876	17,927,541	△ 3,258,665
②	管理費	14,605,048	14,102,593	502,455
	役員報酬	1,369,638	1,543,697	△ 174,059
	給料手当	3,313,607	4,010,792	△ 697,185
	臨時雇賃金	0	0	0
	福利厚生費	64,110	98,174	△ 34,064
	法定福利費	672,374	749,459	△ 77,085
	報償費	0	20,000	△ 20,000
	旅費交通費	690,537	858,796	△ 168,259
	接待交際費	0	0	0
	消耗品費	519,817	675,138	△ 155,321
	燃料費	29,673	19,392	10,281
	会議費	16,940	10,199	6,741
	印刷製本費	392,226	602,618	△ 210,392
	光熱水料費	144,791	125,267	19,524
	修繕費	214,066	151,947	62,119
	医薬材料費	0	0	0
	通信運搬費	364,522	411,605	△ 47,083
	広告宣伝費	151,800	0	151,800
	支払手数料	562,947	129,622	433,325
	保険料	193,560	308,160	△ 114,600
	委託費	289,896	494,840	△ 204,944
	賃借料	1,014,045	1,013,692	353
	支払負担金	930,229	1,086,827	△ 156,598
	租税公課	45,677	54,800	△ 9,123
	退職給付費用	3,585,917	1,687,876	1,898,041
	雑費	0	0	0
	減価償却費	38,676	49,692	△ 11,016
	経常費用計(B)	2,670,637,688	2,134,732,797	535,904,891
	当期経常増減額(A)-(B)	438,545,537	18,554,322	419,991,215
2	経常外増減の部			
	(1)経常外収益			
	固定資産売却益	0	0	0
	経常外収益計(C)	0	0	0
	(2)経常外費用			
	① 固定資産除去損			
	固定資産売却・除却損	346,085	7	346,078
	経常外費用計(D)	346,085	7	346,078
	当期経常外増減額(C)-(D)	△ 346,085	△ 7	△ 346,078
	当期一般正味財産増減額	438,199,452	18,554,315	419,645,137
	一般正味財産期首残高	1,220,875,394	1,202,321,079	18,554,315
	一般正味財産期末残高	1,659,074,846	1,220,875,394	438,199,452
II	指定正味財産増減の部			
	① 一般正味財産への振替額	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	565,000,000	565,000,000	0
	指定正味財産期末残高	565,000,000	565,000,000	0
III	正味財産期末残高	2,224,074,846	1,785,875,394	438,199,452

令和4年度 公益財団法人いばらき文化振興財団正味財産増減計算書内訳表
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 文化自主 センター 事業	収2 水族館 売店 事業	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産等運用益	312,900	0	312,900	0	0	0	0	312,900
② 特定資産運用益	1,985,265	179,437	2,164,702	9,858	38,838	48,696	22,349	2,235,747
③ 事業収益	351,463,111	1,605,017,986	1,956,481,097	38,369,257	873,485,523	911,854,780	0	2,868,335,877
自主公演入場料収益	29,789,800	0	29,789,800	0	0	0	0	29,789,800
受託公演入場料収益	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料収益	8,311,276	0	8,311,276	1,466,291	0	1,466,291	0	9,777,567
負担金収益	9,013,257	0	9,013,257	0	0	0	0	9,013,257
受託公演委託金収益	27,368,783	0	27,368,783	0	0	0	0	27,368,783
県民文化センター指定管理収益	193,361,686	0	193,361,686	0	0	0	0	193,361,686
県民文化センター利用料収益	83,618,309	0	83,618,309	9,601,656	0	9,601,656	0	93,219,965
自然博物館水系展示水槽管理委託金収益	0	15,721,996	15,721,996	0	0	0	0	15,721,996
水族館入場料収益	0	1,589,295,990	1,589,295,990	0	0	0	0	1,589,295,990
売店収益	0	0	0	3,716,490	873,485,523	877,202,013	0	877,202,013
駐車場利用料収益	0	0	0	23,584,820	0	23,584,820	0	23,584,820
④ 受取補助金等	38,194,177	115,971,181	154,165,358	84,825	14,299,464	14,384,289	14,579,787	183,129,434
受取財団運営費補助金	10,898,833	22,268,645	33,167,478	0	0	0	14,579,787	47,747,265
県有施設支援金収益	835,000	92,903,476	93,738,476	0	14,177,524	14,177,524	0	107,916,000
受取助成金	26,460,344	799,060	27,259,404	84,825	121,940	206,765	0	27,466,169
受取水族館20周年事業補助金収益	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 雑収益	1,024,719	43,301,228	44,325,947	2,320	10,838,088	10,840,408	2,912	55,169,267
⑥ 指定正味財産からの振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計(A)	392,980,172	1,764,469,832	2,157,450,004	38,466,260	898,661,913	937,128,173	14,605,048	3,109,183,225
(2) 経常費用								
① 事業費	406,189,692	1,418,419,336	1,824,609,028	24,546,869	806,876,743	831,423,612		2,656,032,640
文化活動団体等助成金	14,167,000	0	14,167,000	0	0	0		14,167,000
役員報酬	3,003,472	7,777,632	10,781,104	0	1,166,345	1,166,345		11,947,449
給与手当	122,512,079	335,842,307	458,354,386	6,903,444	81,392,028	88,295,472		546,649,858
臨時雇賃金	170,349	1,470,280	1,640,629	0	3,101,360	3,101,360		4,741,989
福利厚生費	1,442,346	4,676,755	6,119,101	90,725	700,607	791,332		6,910,433
法定福利費	19,465,824	53,311,944	72,777,768	1,233,520	11,725,885	12,959,405		85,737,173
報償費	8,358,000	0	8,358,000	0	0	0		8,358,000
旅費交通費	1,958,123	1,383,312	3,341,435	0	103,868	103,868		3,445,303
接待交際費	0	20,000	20,000	0	0	0		20,000
消耗品費	7,399,560	28,729,497	36,129,057	73,350	13,894,254	13,967,604		50,096,661
燃料費	3,977,859	56,595,088	60,572,947	0	8,632,419	8,632,419		69,205,366
会議費	336,053	42,840	378,893	0	9,725	9,725		388,618
印刷製本費	4,974,507	6,144,295	11,118,802	0	1,394,717	1,394,717		12,513,519
光熱水料費	35,474,999	202,468,811	237,943,810	932,063	30,897,730	31,829,793		269,773,603
修繕費	15,305,686	39,637,108	54,942,794	23,100	3,829,259	3,852,359		58,795,153
飼料費	0	28,898,406	28,898,406	0	0	0		28,898,406
医薬材料費	7,048	1,216,760	1,223,808	0	185,683	185,683		1,409,491
賄材料費	0	0	0	0	39,856,078	39,856,078		39,856,078
通信運搬費	2,056,212	1,869,453	3,925,665	1,520	549,600	551,120		4,476,785
広告宣伝費	6,756,200	5,211,881	11,968,081	0	0	0		11,968,081
支払手数料	4,631,387	54,263,400	58,894,787	113,183	19,722,521	19,835,704		78,730,491
保険料	453,150	592,900	1,046,050	317,490	213,400	530,890		1,576,940
委託費	115,455,322	417,341,500	532,796,822	8,994,600	67,700,279	76,694,879		609,491,701
賃借料	12,177,278	16,607,764	28,785,042	157,666	4,050,881	4,208,547		32,993,589
工事請負費	0	46,867,404	46,867,404	0	2,054,107	2,054,107		48,921,511
原材料費	0	0	0	2,618,948	469,966,287	472,585,235		472,585,235
生物購入費	0	7,357,424	7,357,424	0	0	0		7,357,424
支払負担金	523,538	2,530,175	3,053,713	19,246	936,334	955,580		4,009,293
租税公課	12,408,284	62,629,756	75,038,040	1,523,907	34,230,076	35,753,983		110,792,023
退職給付費用	11,396,336	26,673,321	38,069,657	1,424,542	6,042,023	7,466,565		45,536,222
雑費	0	2,020	2,020	0	8,349	8,349		10,369
修繕工事負担金	0	0	0	0	0	0		0
県納付金	0	0	0	0	0	0		0
減価償却費	1,779,080	8,257,303	10,036,383	119,565	4,512,928	4,632,493		14,668,876

(単位:円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 文化自主 センター	収2 水族館売店事業	小計		
② 管理費							14,605,048	14,605,048
役員報酬			役員報酬				1,369,638	1,369,638
給料手当							3,313,607	3,313,607
臨時雇賃金							0	0
福利厚生費							64,110	64,110
法定福利費							672,374	672,374
福利厚生費							0	0
報償費							0	0
旅費交通費							690,537	690,537
接待交際費							0	0
消耗品費							519,817	519,817
燃料費							29,673	29,673
会議費							16,940	16,940
印刷製本費							392,226	392,226
光熱水料費							144,791	144,791
修繕費							214,066	214,066
医薬材料費							0	0
通信運搬費							364,522	364,522
広告宣伝費							151,800	151,800
支払手数料							562,947	562,947
保険料							193,560	193,560
委託費							289,896	289,896
賃借料							1,014,045	1,014,045
支払負担金							930,229	930,229
租税公課							45,677	45,677
退職給付費用							3,585,917	3,585,917
雑費							0	0
減価償却費							38,676	38,676
経常費用計(B)	406,189,692	1,418,419,336	1,824,609,028	24,546,869	806,876,743	831,423,612	14,605,048	2,670,637,688
当期経常増減額(A)-(B)	△ 13,209,520	346,050,496	332,840,976	13,919,391	91,785,170	105,704,561	0	438,545,537
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産除去損	0	346,083	346,083	2	0	2	0	346,085
固定資産除却損	0	346,083	346,083	2	0	2	0	346,085
経常外費用計(D)	0	346,083	346,083	2	0	2	0	346,085
当期経常外増減額(C)-(D)	0	△ 346,083	△ 346,083	△ 2	0	△ 2	0	△ 346,085
他会計振替額(E)	25,283,178	25,283,178	50,566,356	△ 6,658,782	△ 43,907,574	△ 50,566,356	0	0
当期一般正味財産増減額	12,073,658	370,987,591	383,061,249	7,260,607	47,877,596	55,138,203	0	438,199,452
一般正味財産期首残高	148,147,920	661,109,282	809,257,202	52,548,989	358,693,259	411,242,248	375,944	1,220,875,394
一般正味財産期末残高	160,221,578	1,032,096,873	1,192,318,451	59,809,596	406,570,855	466,380,451	375,944	1,659,074,846
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0
① 一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	565,000,000	0	565,000,000	0	0	0	0	565,000,000
指定正味財産期末残高	565,000,000	0	565,000,000	0	0	0	0	565,000,000
III 正味財産期末残高	725,221,578	1,032,096,873	1,757,318,451	59,809,596	406,570,855	466,380,451	375,944	2,224,074,846

公益財団法人いばらき文化振興財団貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	43,943,221	41,885,202	2,058,019
預金	819,213,329	553,160,820	266,052,509
普通預金	819,213,329	553,160,820	266,052,509
定期預金	0	0	0
有価証券	0	0	0
前払費用	218,010	207,010	11,000
仮払金	16,071,326	6,577,706	9,493,620
未収金	221,265,839	69,166,984	152,098,855
貯蔵品	29,281,150	43,244,376	△ 13,963,226
流動資産合計	1,129,992,875	714,242,098	415,750,777
2 固定資産			
(1) 基本財産等			
基本財産	30,000,000	30,000,000	0
茨城県債貸付	30,000,000	30,000,000	0
基金財産	0	0	0
有価証券	0	0	0
普通預金	0	0	0
基本財産等合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	551,611,644	521,364,334	30,247,310
助成事業積立資産	535,000,000	535,000,000	0
文化振興事業積立資産	58,341,884	58,340,191	1,693
施設設備修繕等積立資産	216,300,433	216,295,833	4,600
事業資金積立資産	213,423,827	213,420,027	3,800
緊急時対応積立資産	297,815,856	121,423,901	176,391,955
特定費用準備資金	29,856,362	42,890,376	△ 13,034,014
文化活動助成事業資金	29,856,362	42,890,376	△ 13,034,014
発電機修繕等準備資金	0	0	0
資産取得資金	0	128,771,392	△ 128,771,392
減価償却資産取得資金	0	128,771,392	△ 128,771,392
特定資産合計	1,902,350,006	1,837,506,054	64,843,952
(3) その他固定資産			
建物	0	0	0
建物減価償却累計額	0	0	0
構築物	43,844,858	43,930,405	△ 85,547
構築物減価償却累計額	△ 38,581,283	△ 38,198,424	△ 382,859
車両運搬具	4,852,024	4,852,024	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 4,478,000	△ 4,290,428	△ 187,572
什器備品	185,134,402	178,277,170	6,857,232
什器備品減価償却累計額	△ 158,683,205	△ 157,021,184	△ 1,662,021
リース資産	40,361,760	40,361,760	0
リース資産減価償却累計額	△ 34,619,760	△ 28,817,388	△ 5,802,372
電話加入権	307,545	307,545	0
投資有価証券	50,000	50,000	0
ソフトウェア	1,628,000	0	1,628,000
ソフトウェア減価償却累計額	△ 137,133	0	△ 137,133
その他固定資産合計	39,679,208	39,451,480	227,728
固定資産合計	1,972,029,214	1,906,957,534	65,071,680
資産合計	3,102,022,089	2,621,199,632	480,822,457

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	270,183,642	268,673,595	1,510,047
仮受金	36,000,279	24,794,580	11,205,699
前受金	14,409,678	8,947,357	5,462,321
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	320,593,599	302,415,532	18,178,067
2 固定負債			
長期借入金	0	0	0
退職給付引当金	551,611,644	521,364,334	30,247,310
リース債務	5,742,000	11,544,372	△ 5,802,372
仮受金	0	0	0
固定負債合計	557,353,644	532,908,706	24,444,938
負債合計	877,947,243	835,324,238	42,623,005
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産	565,000,000	565,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(535,000,000)	(535,000,000)	(0)
2 一般正味財産	1,659,074,846	1,220,875,394	438,199,452
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(815,738,362)	(781,141,720)	(34,596,642)
正味財産合計	2,224,074,846	1,785,875,394	438,199,452
負債及び正味財産合計	3,102,022,089	2,621,199,632	480,822,457

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

有価証券は取得額をもって計上しているが、取得額が債券金額より低い価額又は高い価額の場合には、償却原価法（定額法）にて処理している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、先入先出法による原価基準を採用している。

(3) 固定資産の減価償却について

① 固定資産の減価償却は、定率法によっている。なおソフトウェアに関しては定額法によっている。

(会計方針の変更)

法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律平成19年3月30日法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令平成19年3月30日政令第83号））に伴い、平成19年4月1日以降に取得したものについては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しているが、これに伴う影響は軽微である。

(追加情報)

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、その残存簿価を償却可能限度額に達した事業年度の翌事業年度以後5年間で備忘価額まで均等償却を行う方法によっているが、これに伴う影響は軽微である。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(4) 退職給付引当金の計上基準について

勸奨及び自己都合による退職金要支給額を計上する。（100%計上済み。）

(5) リース取引の会計処理について

① 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

車両運搬具、什器備品

② リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(ア) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	リース資産
取得価額相当額	40,361,760
減価償却累計額相当額	34,619,760
期末残高相当額	5,742,000

(イ) 未経過リース料期末残高相当額

取得価額相当額	5,742,000
---------	-----------

(ウ) 当期の支払リース料、減価償却費相当額

支払リース料	5,802,372
減価償却費相当額	5,802,372

(エ) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

(6) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(1) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
茨城県債貸付(金銭消費貸借契約)	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	521,364,334	49,122,139	18,874,829	551,611,644
助成事業積立資産	535,000,000	0	0	535,000,000
文化振興事業積立資産	58,340,191	1,693	0	58,341,884
財団振興積立資産	0	0	0	0
施設設備修繕等積立資産	216,295,833	4,600	0	216,300,433
事業資金積立資産	213,420,027	3,800	0	213,423,827
緊急時対応積立資産	121,423,901	176,391,955	0	297,815,856
文化活動助成事業資金	42,890,376	0	13,034,014	29,856,362
発電機修繕等準備資金	0	0	0	0
減価償却資産取得資金	128,771,392	0	128,771,392	0
小 計	1,837,506,054	225,524,187	160,680,235	1,902,350,006
合 計	1,867,506,054	225,524,187	160,680,235	1,932,350,006

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
茨城県債貸付(金銭消費貸借契約)	30,000,000	(30,000,000)	—	—
小 計	30,000,000	(30,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	551,611,644	—	—	(551,611,644)
助成事業積立資産	535,000,000	(535,000,000)	—	—
文化振興事業積立資産	58,341,884	—	(58,341,884)	—
財団振興積立資産	0	—	(0)	—
施設設備修繕等積立資産	216,300,433	—	(216,300,433)	—
事業資金積立資産	213,423,827	—	(213,423,827)	—
緊急時対応積立資産	297,815,856	—	(297,815,856)	—
文化活動助成事業資金	29,856,362	—	(29,856,362)	—
減価償却資産取得資金	0	—	(0)	—
小 計	1,902,350,006	(535,000,000)	(815,738,362)	(551,611,644)
合 計	1,932,350,006	(565,000,000)	(815,738,362)	(551,611,644)

4 固定資産の取得価額，減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額，減価償却累計額及び当期末残高は，次のとおりである。

単位：円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
(建物付属設備)	(0)	(0)	(0)
建物付属設備	0	0	0
(構築物)	(43,844,858)	(38,581,283)	(5,263,575)
構築物	43,844,858	38,581,283	5,263,575
(車両運搬具)	(4,852,024)	(4,478,000)	(374,024)
車両運搬具	4,852,024	4,478,000	374,024
(器具・備品)	(185,134,402)	(158,683,205)	(26,451,197)
器具・備品	185,134,402	158,683,205	26,451,197
(電話加入権)	(307,545)	(0)	(307,545)
電話加入権	307,545	0	307,545
(リース資産)	(40,361,760)	(34,619,760)	(5,742,000)
リース資産	40,361,760	34,619,760	5,742,000
(投資有価証券)	(50,000)	(0)	(50,000)
投資有価証券	50,000	0	50,000
(ソフトウェア)	(1,628,000)	(137,133)	(1,490,867)
ソフトウェア	1,628,000	137,133	1,490,867
合 計	274,550,589	236,362,248	39,679,208

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額，時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額，時価及び評価損益は，次のとおりである。

単位：円

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益	備 考
(退職給付引当資産)	(200,000,000)	(197,710,000)	(△ 360,000)	
第233回共同発行市場公募地方債	100,000,000	98,070,000	△ 1,930,000	大和証券
第69回西日本高速道路債券	100,000,000	99,640,000	△ 360,000	みずほ証券
合 計	200,000,000	197,710,000	△ 360,000	

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

単位：円

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
財団運営費補助金	茨城県	0	47,747,265	47,747,265	0	一般正味財産
県有施設支援金収入	茨城県	0	107,916,000	107,916,000	0	一般正味財産
助成金収益	水戸市	0	400,000	400,000	0	一般正味財産
	文化庁	0	13,840,000	13,840,000	0	一般正味財産
	公益財団法人 常陽藝文センター	0	600,000	600,000	0	一般正味財産
	㈱茨城ポート オーソリティ	0	300,000	300,000	0	一般正味財産
	水戸信用金庫	0	50,000	50,000	0	一般正味財産
	全国公立文化施設協会	0	8,826,169	8,826,169	0	一般正味財産
	茨城県信用組合	0	50,000	50,000	0	一般正味財産
	(一財)茨城県 環境保全事業団	0	300,000	300,000	0	一般正味財産
	中小企業庁	0	1,500,000	1,500,000	0	一般正味財産
	(公財)茨城新聞 文化福祉事業団	0	300,000	300,000	0	一般正味財産
	げんでんふれあい茨 城財団	0	1,300,000	1,300,000	0	一般正味財産
合計		0	183,129,434	183,129,434	0	一般正味財産

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

単位：円

内 容	金 額
経常収益への振替額	
文化活動助成事業資金取崩額分一般正味財産への振替額	0
合計	0

8 引当金の明細

単位：円

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	521,364,334	49,122,139	18,874,829	0	551,611,644

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定財産の明細は、計算書類に対する注記2，基本財産及び特定資産の増減及びその残高に記載のとおりである。

2 引当金の明細

引当金の明細は、計算書類に対する注記8，引当金の明細に記載のとおりである。

財産目録
令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	年度未売上金及び運転資金として	43,943,221
預金	普通預金 常陽銀行県庁支店 常陽銀行大洗支店 住信SBIネット銀行法人第一支店 茨城県信用組合千波支店		(819,213,329) 161,730,968 657,480,174 937 1,250
前払費用	法人運営部門	駐車場事業加入保険料等	218,010
仮払金	文化振興部門ほか 他	会計間の繰入支出戻入分及び保険料 個人負担分 他	16,071,326
未収金	事業に係る未収額 他	入場料収入, 県委託金収入 他	221,265,839
貯蔵品	カフェ, 売店商品	翌年度事業に供する貯蔵品	29,281,150
流動資産合計			1,129,992,875
(固定資産)			
基本財産	基本財産	茨城県債貸付	(30,000,000) 30,000,000
特定資産	退職給付引当資産	職員に対する退職金の支給に備えるため	(1,902,350,006) (551,611,644)
		普通預金 常陽銀行県庁支店 大和ネクスト銀行 水戸信用金庫本店	30,209,366 49,312,935 89,343
		定期預金 水戸信用金庫本店 住信SBIネット銀行	172,000,000 100,000,000
		有価証券 共同発行市場公募地方債 西日本高速道路債権	100,000,000 100,000,000
	助成事業積立資産	茨城県債貸付	(535,000,000) 535,000,000
	文化振興事業積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 三井住友銀行水戸支店	(58,341,884) 8,319,871 8,805 13,208
		定期預金 茨城県信用組合千波支店 三井住友銀行水戸支店	20,000,000 30,000,000
	財団振興積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店	(0) 0
	施設設備修繕等積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店	(216,300,433) 1,296,763 600
		定期預金 常陽銀行県庁支店 筑波銀行泉町支店	200,000,000 15,003,070
	事業資金積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店	(213,423,827) 53,408,196 15,631
		定期預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店	100,000,000 60,000,000

その他固定資産	緊急時対応積立資産	普通預金		(297,815,856)
		常陽銀行県庁支店		3,683,295
		常陽銀行大洗支店	公2の水族館に係る緊急時の事業継続等に使用	47,877,596
		茨城県信用組合千波支店		8,014,263
		筑波銀行泉町支店		15,430
		定期預金		0
		常陽銀行県庁支店	公1及び取1のセンター自主事業に係る事業継続等に使用	128,225,272
		茨城県信用組合千波支店		110,000,000
		筑波銀行泉町支店		
		特定費用準備資金		[29,856,362]
	文化活動助成事業資金		(29,856,362)	
	普通預金	文化活動助成事業に使用	29,856,362	
	常陽銀行県庁支店		0	
	住信SBIネット銀行法人第一支店		0	
	定期預金		0	
住信SBIネット銀行法人第一支店				
構築物		(39,679,208)		
		5,263,575		
水戸市千波町東久保697 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している			
駐車場案内表示板 他				
ホールディングプール下倉庫 他				
車両運搬具		374,024		
水戸市千波町東久保697 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している			
アクセラ、フォークリフト 他				
什器備品		26,451,197		
水戸市千波町東久保697 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している			
金庫、勤怠管理システム 他				
料金所エアコン 他				
セミクジラ骨格標本 他				
リース資産		5,742,000		
大洗町磯浜町8252-3	収益事業の用に供している			
水族館売店POSシステム				
電話加入権		307,545		
水戸市千波町東久保697	公益目的事業の用に供している			
投資有価証券		50,000		
茨城県信用組合千波支店	茨城県信用組合への出資			
ソフトウェア		1,490,867		
水戸市千波町東久保697 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している			
電話応答転送装置				
固定資産合計			1,972,029,214	
資産合計			3,102,022,089	
(流動負債)				
未払金	事業に係る未払額 他	文化活動団体への助成金未払い 退職金、電気料 他	270,183,642	
仮受金	事業に係る仮受額 他	共済公演入場料仮受 他	36,000,279	
前受金	事業に係る前受額 他	利用料金前受	14,409,678	
流動負債合計			320,593,599	
(固定負債)				
退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支給に備えたもの	551,611,644	
リース債務	大洗町磯浜町8252-3 水族館売店POSシステム	公益目的事業の用に供している	5,742,000	
固定負債合計			557,353,644	
負債合計			877,947,243	
正味財産			2,224,074,846	